

児童デイサービス 生活塾みずならの木 「生産向上としての取り組み」
(現場の課題・見える化・改善方法)

※ 当事業所は、生産向上及び職員の働きやすい環境作りを目的とし、現状の業務内容や課題の把握を行い、改善に向け職員間で意見を出し合い検討し実施した。

現状の把握

利用者は定員 10 名、登録者 35 名

職員数は基準以上を確保

- ・日々の支援体制はほぼ安定しており残業も発生していない。また支援記録や申し送りの情報共有も朝礼、終礼を中心に行われている。
- ・送迎についても契約段階で動線の悪い地域や学校を除外している為無理のないルートで実施できている。
- ・物品管理についても基本的には定位置管理ができており業務に支障をきたすような混雑は発生してはいない。
- ・安全管理においては死角がない防犯カメラの設置で、保護者から求められればすぐに支援内容の提供ができるようにしている。マニュアルも必要に応じて作成している。
- ・職員の有給休暇も取得でき、また男性職員の育休取得もできているなど、働きやすい環境が維持されている。

課題・改善など

大きな課題はみられないが、以下のような改善余地がみられた。

- ・忙しい時間帯に物品が元の位置に戻らない事が稀にある
- ・連絡帳の簡素化できる可能性がある
- ・職員配置が手厚い分、人件費が高くなりやすい傾向がある
- ・職員の高齢化

業務時間の見える化（分析）

- ・利用者直接支援 : 50%
- ・送迎 : 15%
- ・記録 : 15%
- ・活動準備 : 15%
- ・保護者対応 : 5%
- ・雑務 : 5%

改善の方向性

- ・活動準備のマニュアル化で効率を図る
- ・連絡帳の見直し
- ・人件費

まとめ

みずならの木は現状の業務が安定しており大きな課題は見られないものの、物品管理や活動準備・記録等の簡素化の改善余地はある。より良い支援環境と働きやすい職場づくりのため、改善の方向性が負担にならない範囲での効率化を検討した。